要糧穀の收買價格引上げ

の興亜院創 ・において開始 ・院創 ・記は午前十記

・ 滿洲本部より會

意向を有し之がため高津郷 酸派遣を機會に現行日漸伊 酸派遣を機會に現行日漸伊

三ヶ月の豫定である リーに向ふ、滯敞日程は リーに向ふ、滯敞日程は フーに向ふ、滯敞日程は リーに向ふ、滯敞日程は

六日出發 六日出發

に當らしめることとなった

問題につ

國側交渉委員として日本側城駐伊代理公使と共に満洲

と何道ローマに脈道し、

部還元

北鮮鐵道

0

新京は一叭一圓八十錢前後

小賣値上げ

方應の認可を得て實施するに於ては新價格と決定、地間給組合に於ては新價格

右終つて晩餐會を催する終し、無資祝辭。關東軍多一、來賓祝辭。關東軍多

賀祇念部

司軍東關 皇帝陛下の御院を仰ぎ官勝は同日午前十一時五十 門、同五十分梅津軍司令官 祝賀會を催した、 大殿間の會場に御着席、 於て莊重なる御訪日 三浦大使館参事官

受上に家として輝く戦権なる締盟の御使命を果させられてより五星淵、 御對面、永遠の御交離を遂 あたるので 委員會を設立

「南京五日發國通」改組國 首席は三日附をもつて左の による はいて國民大會を招集し憲 して憲政其體化に乗出す旨 法を制定、憲政を實施すべ を明かにした なを制定、憲政を實施すべ を明かにした 國民政府より發令

らない、行政院長はなど備に着手しなければ

立ばか 部長と共に憲政實施委員院長、副院長および内政法、司法監察、考試各院

土を招き大業を果すべい

決定し近く愛令を見んとす をがこのほど右人事も大體 たがこのほど右人事も大體

東上打合せ 興業債券發行

よっての無事を勝していた。 大いでは色々方法もあらう。 マンだりになれば、何でも出来 を容れない。全市民に依つて がすられることは、疑ひ を容れない。全市民に依つて がかくして節し得た。それ がかくして節し得た。それ がかくして第したものになるだ 知何にはして集むるやである。 がかくして第し得た。それ がかくして第し得た。 を容れない。 がかくして第しる。 がかくして第しる。 を容れない。 がかくして第しる。 を容れない。 がかくして第しる。 を容れない。 がある。 でもある。 とは、疑ひ でもある。 とは、とは、とは、とは、とは、となる。 とには色々方法もあらう。 とには、となる。 とには色々方法もあらう。 とには、となる。 とには、となる。 とには、となる。 とには、となる。 とには、となる。 とには、となる。 とには、となる。 とには、となる。 とは、となる。 となる。 とな。 となる。 とな。 とな。 とな。 となる。 とな。 となる。 となる。 となる。 となる。 となる。 とな しのに 保持しつつあるが、重要政策に卓越せる健康と手腕と を有する人物を中央政府の 世界の地方行政への徹底的浸 競に卓越せる健康と手腕と を有する人物を中央政府の 主要福機に参霊せしか、又 主要福機に参霊せしか、又 主要福機に参霊せしか、又 主要福機に参霊してゐた人物 的樞機に参霊してゐた人物 的樞機に参霊してゐた人物 の喫緊事なりとして先親下 しめる所謂中央、地方の 以事交流を行ふことは人心

民の精神運動である。併し 、その日國防婦人會あた しての表表を各戸に配付し、 をして小さい烈リボンでも として小さい烈リボンでも としてのもよからう▼又年末 しての大神運動である。 の目の節約し得た金を入れ してのよう▼又年末 してのよう▼又年末 してのよう▼ス年末 してのようである。 の目の節約し得た金を入れ してのまではな してのまである。 の手段と

電流するは、 電流するとである。 には是非典目標を定めよ。 には是非典目標を定めよる。 作二日のこと▼クモンハン を配る傷めの、海技爾忠強を を配る傷めの、海技爾忠強を を配る傷めの、海技爾忠強を を可した。 を可した。 でのである。 が、その成功を別待っの主と取 のである。 のである。 のである。 のである。 が、その成功を別待っのと を記述するものは必ずるものはなする。 のである。 ガーターとして見られ 質施する以上、その酸 大一ターとして見られ である。これ である。これ

局經理

國本語 (東京) 本語 (東京) 應に望熱の様皆 き聽

加待される。 本のと見られ中央、地方 を通する著しい人事の副 を通する著しい人事の副 を通する著しい人事の副 を通する著しい人事の副 を通する著しい人事の副 を通する著しい人事の副 を通する著しい人事の副 を通する者とあたて相當 を通する者といる。 を通する。 を通する者といる。 を通する。 を通する。 を通する。 を通する。 を通する。 を通する。 を通する。 を通する。 を述する。 を述る。 を述。



關東軍司令官国の御着の皇帝陛下、御出迎への梅津

日補償間の蔵標に遺族は源

界五軍管區

合同慰靈祭

前で鯉司令部營庭内忠鑑勝ら五軍司令部營庭内忠鑑勝

灣河江西省

連日

明新本部員を再調練する 平訓練の必要なの豊それの こと、これも進む補別の人の問題への関心的まつ

抗戰意思を徹底的に挫折 投降兵續 **支那派遣軍週間戰况發表** 経験完全にこれを掃滅し においては大部隊の勝順 においては大部隊の勝順 は敵ぶべくもない

師の一部に痛撃を加へた 部項林鎮を急襲敵六十二 部項林鎮を急襲敵六十二 中支方面 の各部職は財産の各部職は 南支方面 た撃東南

「南京六日澄園通」 支州派 遺軍報道部四月五日澄表 『 一三月三十日以降六日に至る

一般狀況

松部底的成功を形成の活躍。 本、高橋、是孫、柴田、 上井、田中の各部隊の活躍。 上井、田中の各部隊の活躍。 高橋、是孫、柴田、 上井、田中の各部隊な活躍。 高橋、是孫、柴田、 上井、田中の各部隊な近 大西省廣信などの爆撃を手始 での爆撃を手が での爆撃を手が での爆撃を手が での爆撃を でいた。 では、 での大きながでの での大きながでの での大きながでの での大きながである。 での大きながである。 での大きながである。 では、 での大きながである。 での大きながである。 での大きなが、 でいた。 でい

今や半身不隨と化した一里航空部隊連續冒撃に

中の戎克百数十隻及び汽船一隻を攻撃。これを撃破、一隻を攻撃。これを撃破、一 更に燃料貯藏倉買したが、上更に燃料貯藏倉買したが、上 変を見せず虚かに地上砲火 が微弱な抵抗を示したのみ であつた 共匪を追撃

が創造され のだ 充分な理解あつて運用さ とがあつてはいけない る

宜しく周到な宣傳が行はれ 電力と周到な宣傳が行ばれ

るる。 0

は注目される は注目される な注目される をあし他の遊撃部隊と な変し他の遊撃部隊と な変し他の遊撃部隊と な変しので変

平

馬廣西省奇襲

山飛行場の爆撃等相次

▲是子敏雄氏 奉天 ◆寺本正男氏 安東、 ◆井上寶氏 牡丹江へ ◆十河館太郎氏 奉天。 ◆十河館太郎氏 奉天。 日く

港峰るしり最漸の間現て北近大

国四十銭である ・ 大五圓四十五銭、最低十三

滿洲本部結成 東亞經濟懇談會 分散會した ・ 一

上層

廣範圍に同

ため既に定例省

針を指示説明

方の緊密なる有機的連繁を 現地の實情を聽取し中央地

使携行の日本

地

「東京國通」六日の臨時閣

訓令案決定 阿部大使携行

はり 撃行される より 撃行される

要諸政策の完建を圖り以て

鍛から左の如く正式に發表 重ねてゐたが、五日午後鮮 東渚間において腰々折觸を 一、現在溝鎖に軽管を解除に優勝する場合とする北鮮銀道の一部へ上三 る北鮮銀道の一部へ上三 所に復歸するものとす。 前記經營の變更と同時 に低來の委託經營を解除 では從來の委託經營を解除 では從來の委託經營を解除 では從來の委託經營を解除 では從來の委託經營を解除 では近來の委託經營を解除 北鮮鐵道及港灣の經營

往來

鮮鐵で正式發表

【〇〇墓地五日發國通】

海鷲大編隊猛爆



康德二年四月滿洲國皇帝陛下には盟邦日本を御訪問あらせられ日滿南國

六

9 四 計算 2章 43 訂整 9 K D 9 K D 設行所

水越內之介 新來自日新聞社 新來自日新聞社 大利 榮 忠 TAL



銘せ

よ

日

戰死

憲政實施へ

靈に威謝の御奉公

岡地つ式如びめを

本城氏妻女の美學

は今般別々に動物するとして 会五百圓を献金 ところ。 一三番地本城登代さんは亡 夫の忌明に五日國防婦人會 首都本部に事業資金として 金五百圓を献金 又同日市内東朝陽胡同中 又同日本人及び朝陽胡同中 工各金五十圓宛谷を記して なら般別々に動粉するとして なら、本地前田中 は今般の本に動粉するよ は今般の本に動物するよ

調停 裁判

献金を行ひ各關係當

日

結晶六百圓 日の丸辨當の

電々國婦分自飲金

係員を感激せしめた

町から全満

- るといふ好成とがあり一ヶ日とがあり一ヶ日

官が出張該地の人認ある。

本七、三〇(東京) 高「翼」メン道子本七、 の(東京)講演「今職會を 京)音楽漫談三遊亭金馬本 所通す「伏家を求む」井口 を表示し、一〇(東京) 一様で、一〇(東京) 一様で、一〇(東京) 一様で、一〇(東京) 一様で、一〇(東京) 一様で、一〇(東京) 一様で、一〇(東京) 一様で、一〇(東京)

か、としている「なくなった」としている。 「なる。」では、本件の多い時 がで変異は顕著なるものあ なの效果は顕著なるものあ での效果は顕著なるものあ

錦丘高女入學式の第二

吟詠聯盟大會

不部、苦提國家島分

され、部員を痛く感激せし 大百圓の國防骸金が四日午 後陽東軍司令部副官部に齎 後陽東軍司令部副官部に齎

樂部で詩吟と独新京吟詠聯盟で

部で詩吟と映畫の會を閉て後六時から滿鏡社員供

場するため去る二月何法令 等下に調停裁判を實施蓋々 その效果をあげてゐるが、 なは深く大楽の紛爭解決に なは深く大楽の紛爭解決に

を以て地方巡回調停令を設 布底は来る廿二日から一週 間公主敬懷德街をトップに 全湖百十五ヶ所に亘つて第 一回巡回調停幾判を實施す ることゝなつた。このうち

前人日が多く、しいなは今回の巡回副停裁判は

異に寄興し、法理に流れずをも打ち破つて真に民生振

庶務

法理に流れず

夏田鍼灸院

(日 曜 日)

機なまる三月四日第一回會 に長通路、大經路の二分會 に長通路、大經路の二分會 といふ雅しさで満系婦人の といふ雅しさで満系婦人の

後率公運動に拍車をかけ

が結成する関編電々分會 が結成する関編電々分會 では昨年六月の精神作興 では昨年六月の精神作興 中合せ、この節約金を貯 中合せ、この節約金を貯

補来婦人の依

協和會首都青訓 協和會首都青年訓練所第七 回入所式は六日午前十時三 回入所式は六日午前十時三 學行、嚴肅な宣誓式ののち 等所長、金子首都本部で 宋所長、金子首都本部で 宋所長、金子首都本部で

八百五十人の赤心は塵も積 つて六百圓となつたので分 會代表中田秀子さんほか二 名が軍司令部副官部に出頭 鉄後にある編人の眞心を語 り、國防費の一端にもと献

【東京園通】日浦支の農學 権成者が一堂に會して貴重 な研究發表を行ふ第十一回 日本農學大會は、六日午前 九時東京帝國大學大講堂に おける總會をもつで開會さ れた

防劑を頒布

春傳染病期に備ふ

ス赤痢

公署防疫科では早くもこ病の跳梁期に入るので、

にかけて市民に質費以下の ・ (ロックテン ・ (ロック ・ (ロッ ・ (ロック ・ (ロック ・ (ロッ ・ (ロッ ・ (ロック ・ (ロック ・ (ロッ ・

80字晚s放送

期

第二萬四千圓總個数八萬個 第二萬四千圓總個数八萬個 防策計灣が病魔から市民を 防疾料であるが他に適當 を個る筈、價格は十億市公署 を個る筈、價格は十億島

金方を申出たものである

は融湯、研究所、農業各・ 各大學、専門學校並に各 各大學、専門學校並に各

であるが、個々この事實に 対のうちに一般関兄に國族に野する敏度の念を薄くさせ延いては道義國家の面目 せびいかと かねて一部議者に憂慮され

直面慷慨した日本内地から にしかも正しく掲揚出來る にしかも正しく掲揚出來る にしかも正しく掲揚出來る にしかも正しく掲揚出來る にしかも正しく掲揚出來る にしかも正しく掲揚出來る にしかも正しく掲揚出來る にしかも正しく掲揚出來る にしかも正しく掲揚出來る を特許の許可が與へられや うとしてゐる快報がある 考案者玉川甚吉氏(北海 道小樽市富岡町出身)は 大が、満洲へ雄飛を思ひ たが、満洲へ雄飛を思ひ 大が、満洲へ雄飛を思ひ 大が、満洲へ雄飛を思ひ 大が、満洲へ雄飛を思ひ 大が、満洲へ雄飛を思ひ 大が、満洲へ雄飛を思ひ 大が、満洲へ雄飛を思ひ 大が、満洲へ雄飛を思ひ 大が、満洲へ雄飛を思ひ を創案したものである ・ たが、満洲へ雄飛を思ひ を創案したものである。 ・ たが、満洲へ雄飛を思ひ を創案したものである。 ・ たが、満洲へ雄飛を思ひ を創案したものである。 ・ たが、満洲へ雄飛を思ひ を創案したものである。 ・ たまる形をとり、日満國 報 ととまる形をとり、日満國 報 かったところ去 ととまる形をとり、日満國 報 かったところ去 ととまる形をとり、日満國 報 かった。 な刻まれた側の孔に各國 か かった。 な刻まれた側の孔に各國 か

は宅一様にで、玉井氏も大いによろこび、協和會岡田弘 ・ は宅一様にとりつけよらかと提案の ・ は宅一様にとりつけよらかと提案の ・ はったほどで、玉井氏も大い ・ はったほどで、玉井氏も大い ・ なることになった

「愛馬デト」の趣旨を一般 ・ 家庭に徹底せしめるため午 ・ 家庭に徹底せしめるため午 ・ 家庭に徹底せしめるため午

のす全満に愛

に展開す

直面慷慨した日本内地からの一旅客によつて最も簡単にしかも正しく揚揚出来るに関疾交叉正揚器」が考案され近く特許強明局から新なれ近く特許強明局から新なれたの許可が興べられや

日の神武天皇祭に玉川家の派に正しく掲揚される仕組派に正しく掲揚される仕組

百頭の

騎馬

满系國婦運動

る活潑ル

す

△玉川基吉氏談■いやしく も國家を表徴する國族は 國民の讃仰の的ともすべ きもので、これが掲揚が であつてはなりま

あす七日『愛居日』 - 前線 に皇軍と共に活躍する軍馬 や銃後の努めにいそしむ人 人のよき手助けとなる馬の 現に知らしめる日、愛馬に 展に知らしめる日、愛馬に 展に知らしめる日、愛馬に 関する講演と映 豊を日 系 (同午後六時)と行ふ外午 後二時よりは兒玉公園競技 場で障碍、騎婆、高等馬術 の公開や、驛前廣場及び南 かの公開や、驛前廣場及び南 を

一の二分會新設

農

會

なほ新京中央放送局では

根と空務協會の「空」の

あ す (七日)

度し、右希望者は四月十三日迄に履歴書携帯本人來談相成

満洲與業銀行人事課

こととなってゐる

日満支の權威者研究發表

開州國に住む人々が一番氣 る問題は軒毎に掲げら

止しい

町屯

長會議開



追義國家の街頭に

で有公署に招集重要物資配 を有公署に招集重要物資配 が同議要項について下部組 が同議要項について下部組 が同議要項について下部組 ため各關係町屯長會議を區 ため各關係町屯長會議を區 ため各關係町屯長會議を區 物重資要 が續行される。
が行される
を會議を皮切 配給方法

東京審美書院では

東京審美書院 郷率天市長 百貨店で複製名遺美術書展

より六日から十二日迄寶山 補洲生命理事長らの斡旋に

へさされた場句にの「 構交叉正揚器」を作りあ 日でもれた日前族で埋まる こでもれた日前族で埋まる こでもれた日前族で埋まる してるます「窓屋」と作りあ してるます「窓屋」と してるます ところ各 ところ各 には の関々まで でしてるます には の関々まで のまるこびとしてるます してるます には のまるたり 音の関々まで のまるたり で埋まる たり のまるたり でしたところ各 にした のまるたり でしたところ のまるたり でしたところ のまるたり で埋まる にしてるます にしてるるます にしてるるます にしてるる。 にしてる。 にしてるる。 にしてる。 にしてる。

入申告が必要となったが 唯既証品に付ては可及的 唯既証品に付ては可及的 に限り輸入承認書を發行 に限り輸入承認書を發行 に限り輸入承認書を發行 となったが 、 とこれが輸入を認めること となったが み謎れの

三日朝大同公園入口前に資生した奇怪な傷害事件の謎を解く唯一の人物國都建設 局屋員野澤因氏 (三二) は 高麗員野澤因氏 (三二) は 高麗子音音をうけてゐたが五日午手音をうけてゐたが五日午 つひに絡命 特者野澤氏の満用してるた オーバーに附着した泥に依 り泥酔の上自動車に刎ね飛 ばされたものではないかと だされたものではないかと を延ばしてゐる

五日午後四時三十分頃世間 白晝馬車で盗み

と云ひ何れも と云ひ何れも

鐵北國華街

事実破した嗜れの新入生三 百十入名はけふから女學生 の誇りも高らかに希望多き の窓生活の第一步を踏み出

自動車運轉手募集

急

までに本社教習係へ対態検査器各一通知院名しくば論教習を一通知の原名とは論教習を一通知の原名とは論教習を一通知の原名とは、一般の原名を表現の原理を表現の原名を表現の原理を表現の
のでするのでのでの原理を表現の原理を表現の原理を表現の原理を表現の原理を表現の原理を表現の

有する滿二十一

不良少年一

新京交通株式會社

募

御来談下さい

割烹

京

摘へられた強か者であるとなりであるところを鑑録層(價格約三千側)

まれて即死

ころ餞北孟家橋古物商治發

が盗難

しれで

滿系大工

さんの講習終る

不小三(一二)のチンピラ デ小二(一四)鄭奎(一三)

来誤解してゐた建築法の全然者多數參集三日間に亘り業者多數參集三日間に亘り 法 ・ は り 質施した 満系建築 技術 者の建築 法規並に 建築 技術 首警建築工場科主催で四日 首警建築工場科主催で四日 電は修了證書を授與式 つて意義深く開音した【寫 で記載を開音した【寫 空のバッデ

無経験にても可、宿舎有り機遇すれたの場合にても可、宿舎有り機遇すれた

西廣場滿鐵社員俱樂部 戸、宿舎有り優遇す木人来談

田村組出

張

滿

案入選發表 空務協會章圖

を終了し、正午より牧野科 一年前中の講義をもつて講習 般に亘り再認識したが六日

夢中の協 から公 協 から八百本 ではないかと追及してゐるのが、機の關を組織してゐるのが、特合室のスリ、極質物拔取、特合室のスリ、極質が大変、特合室のスリ、極質が大変、 新京 滿鐵 俱樂部

作品を入選と決定六日發表會で模重審議の結果左の五會で模重審議の結果左の五 紅白試合

内地中等學校の强豪をすぐ り國都球界の覇者をめざし が出日午後二時から見玉 るが七日午後二時から見玉 会願球場に於て紅白試合を 開催する

勝間田翁客死 9

イピス

市内に確實なる身元引受人を有力を得者

水貨事務所 電方獨逸商社新京市内にて五十間 位の事務所兼住宅川貨家又は貨室 至急求む 徳 学 洋 行 ※ 天 大 北 門 裏

前の御厚情を謝し謹告仕候原に於て死去致候に付同人生物中の處四月二日午前一時北校男一幸儀羅北交通會社に勤

日本人(半島人滿人にでも可)一日本人(半島人滿人にでも可)一角と乳兒は生後二十日手戴其の他は面談上 在

し謹告仕 大街二〇六 浦

のショールと 1春の新製逸品ゆたかに出揃... 趣味 春 0 0 煽 新 型婦 人 型

春の新製ハンドパックと のラフィア

履物

7

エータ

人子供帽

子

簇麦草提三個よ

春の紗士肌衣 純綿五圓より

スフ混紡品三個よりへメポッ下同館

ベヒ!服と子供児膏予育純毛學生帽子を維綿沓下

女中さん急募

部

松龍俱樂

像しめるものがあるといはれる、密都キネーとが、気な上子と商家の娘の戀物語りを取扱つたアルッーとグン監督作品、きまり切つたやうなストオとが、気なり、アールンの共演する音樂映畫でしいが音樂にのせて戀の成立を描いた前半はしいが音樂にのせて戀の成立を描いた前半はしいが音樂にのせて戀の成立を描いた前半はしいが音楽にあるといばれる、密都キネーとグランを表していばれる。



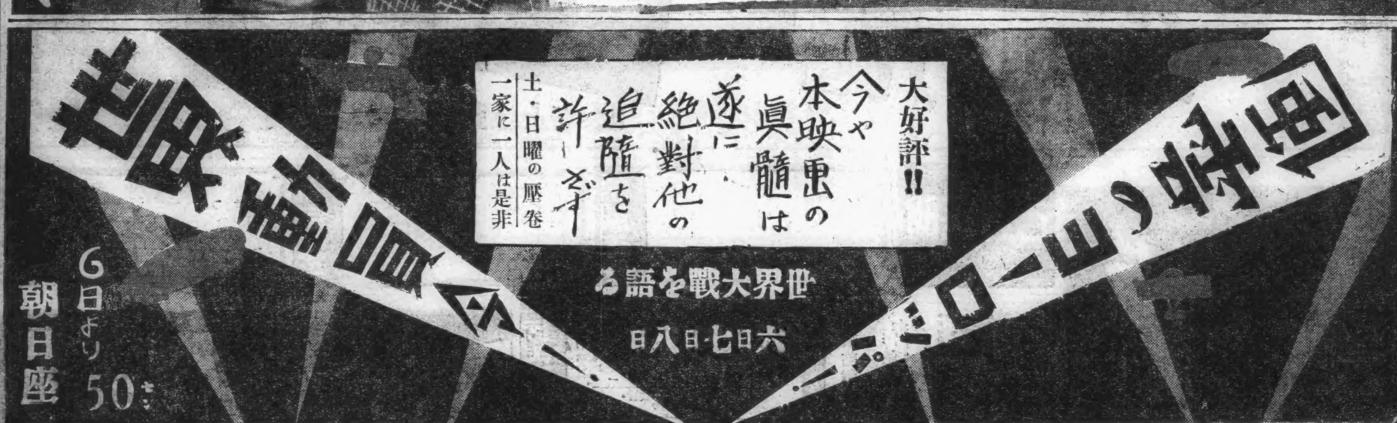
新響の渡浦 六月頃實現か 大塚新京音樂院長歸京談

積極的連携乘出

機関参考資料に 現地の整を間く 四月二日午後二時から滿映 本社で治安部被間係員と開 本社で治安部被間係員と開 を 大、滿映の巡回峽寫活動は 作年四月開發課開設以來全 所各地に展開した小型峽寫 一次第一、第二回南北兩滿巡 回峽寫を築頭に密山苦力宜

か収入などの點で折合が







勇

灭中軒雲月

8

で献りあげた。

7 12,33 3,10 5,50 風雲のヨーロッパ12,55 3,30 6,10 9,00

6日より8日まで

九日より

料金五十錢

施工大纳。

2.00 4.45 2.10 4.55 豆楽劇 選月の九段の母 12 00 2.35 5-20 1.00 3.45 6.20 9.15

防城市

6.54 7.18 3.44 1.25 4.44 8.18 9.20 10.22 5.46

たも樂しい名喜劇!! 他の雨降らで爆笑の でながずンザミ降る世 にも樂しい名喜劇!!

60 t



篇巨ぬれら見にずか泣 浪の曲 涙るけ上込動感いしら晴素

1,(3 4,02 1,24 4,23 1,36 4,45

九十錢

ディック・ミネ質病ベティ・稲田

金色の鬼 11,30 2,29 5,38

四日より九日まで

△七日●八日二日間△

7,11 7,41 8,03 8,56 10,24





コース 11.50 3.10 6.40 お b げ 12.15 3.45 7.15 編 紙な王子 様 1.45 5.10 8.45

六日より 十日まで 階下七十セン 19.10

次週封団 歳 ぐ 日 ま で



謀副長、南支中支南参謀長 個より本多支那派遣軍總登 個より本多支那派遣軍總登 側より本多支那派遣軍總登

長出席左記日程に從ひ閉院西部各防衛司令官、各師園西部各防衛司令官、各師園

目的完遂へ

師團長會議

設行

所

D & 63

AAA

AB ME

漢

口

神計大祭

初の漢口神社大

原棉手當

0

見透っ

中支當局ご折衝

後中支棉の輸入は豫定の如

「説阿部大将壮生の位置に着

議を拍手裡に可決、次いで の武運長久祈願の後午後一 時國民大會總代松井石根大 時國民大會總代松井石根大

手の裡に登壇、特派部 れるや

面バルコニーの復壇に立ち貴衆兩院議長がそれぞれ正貴衆兩院議長がそれぞれ正れてれ正れてれ

特派に世紀

鹿島

-朝から彼々と詰める。 関 女青年圏、

歌合唱の莊 薫なり ズムで 繋げて慶祝一色に彩られた 素けて 式の幕 は八萬 の國

これ場本にろて一日派

大會宣言、決議

同

びに決議左の如し

進せられることは過日のこと を育席として樹立された新 を育席として樹立された新 を育席として樹立された新 を育席として樹立された新 を育席として樹立された新 を育席として樹立された新 を育席として樹立された新 を育席として樹立された新 を育席として樹立された新 を高邁なる理想に向つて連 とは過日の変と はない王精衛氏 はない正精衛氏 はない正精衛氏 はないと はないと はから善 はないと はから書

信蔵氏(同)

郷で換も致します 御交換も致します

新京競賣所

、純毛の新古和洋服、特價品豊富

往來

を明司法部次長 法部次 を明司法部次長 法部次

店の應順策國

の一つたる開拓事業の達地常の改良にその全力を地帯の改良にその全力を地帯の改良にその全力を地帯の改良にその全力を地帯の改良にその全力を地帯の改良にるの全力を | 関問題に就き激論を交へた | 日割陽湖東岸の要地熊州に | て遂に武力衝突を見るに至った、即ち二日朝和平、抗 新政府成立の衝動 の の完遂に邁進することとなって、 親立崗、三ヶ年計畫の っち本年度は貯水地灌漑 等に依り三萬六千町歩閉 一、 親立崗、三ヶ年計畫の 魔下の自衛團約二千を以つ司令は意見の不一致を来し司令は意見の不一致を来し二團を長劉鳳及び周鄙陽湖

を交へて激戦を展開、第二 百四十八、第百四十七の二 百四十八、第百四十七の二

定的援助を仰ぐべく最後の抗日戦線現化に關するソ聯に日戦線現化に關するソ聯に受講するとによつてソ聯より決 **岡で懐重人選中であつたがかねて政府と阿部天使との** 大使隆員圏の銓衡に付ては 【東京國通】 中國派遣隨員 ではより ・ 後来の関共札幌の全 面的除去 面的除去 面的除去 面的除去

より蔵よ窮地に追よれば新中央政府とれば新中央政府

努力を開始する模様であり る要求内容は次の如くであ るといはれる

、直

大が一鵬終了したので來る に国し司法部では既に屢次 に国し司法部では既に屢次 に国り審議を重ねつゝあつ に正り審議を重ねつゝあつ

情、村の所謂地方自治團體 の育成、民生振興政策の徹 底に寄興するは勿論、近代 底に寄興するは勿論、近代

五府縣知事

聯の要求を容認

暫行民籍制定

協和會異動

第三次發表

指母委員會

く實施の運びとなつたが、兵法は諸般の準備を終へ近兵法は諸般の準備を終へ近

民事法典委員會

、蔣介

西次、同栗澤一男、大体西水、同栗原頭道、同岡田介、同桑原重遠、同岡田介、同桑原重遠、同郡鹿後之官安藤明道、同萃鹿後之官安藤明道、同萃鹿後之官安藤明道、同草鹿後之官を勝る。

一回民事法典審議委員會を 高法院長を委員長とする第

模様である、かくてわが関 関型には公布の運びとなる 関心には公布の運びとなる にも初めて戸籍が出來市、

(東京園通)地方長官の異動に九日の開議に附議決定する豫定で目下大達内務次官を中心に銓衡を急いでゐるが、今回の異動に當つて赤松小寅(京都)田中廣太赤松小寅(京都)田中廣太

高州省錦西縣木部辨事 命錦州省錦西縣木部辨事 三江省蘿北縣木部辨事 のは次の如し

高三江省編北縣本部事務長 高二江省編北縣本部事務長 高北安省慶城縣本部事務長 南本 見太郎

協和會では重點構成方針に 整言さきに中央地方各本部 第三次異動をして騒本部事 務長以下曾務直接擔當者九 十五名の異動を斷行六日午 鑑み同首都本部では九日午 指導委員會事務局を設置し 指導委員會事務局を設置し 前十時から同所に國兵法権 中小尚工業者を對象とする中小尚工業者を對象とする目二日附經濟部佈告第まり三月二十九日より外國科技の業務を開始した興德的一般行は認善管理法の規定により三月二十九日より外國公司。 興徳銀行に 外國為替業務

> 御散策には是非 風香ぐはしき春 三特選品を 合ふ様に致します 御選み下さ 丸の

度の事業計畫 三、新開河、四ヶ年計畫のう を成よこれに要する必要資材 なほこれに要する必要資材 なほこれに要する必要資材 なほこれに要する必要資材 なほこれに要する必要資材 なほこれに要する必要資材 は政府の斡旋に依り可及的 は政府の斡旋に依り可及的 新京日日新聞社 水和力物質 行用用 二十十二日本本 介無忠

院参謀總長宮殿下、梨本元 より陸相官邸において陸軍 事参議官會議を開催、関 參議官會議 陸軍軍事

軍務局長等参集、武藤 立の經過並に當の諸問 つき説明あつて後懇談

表く 申告審別日別迫を整へて未 (栃木)の五府縣知事は後 中告審別日別迫を整へて未 (栃木)の五府縣知事は後 中告審別日別追を整へて未 (栃木)の五府縣知事は後 中告審別日別追を整へて未 (栃木)の五府縣知事は後 中告審別日別追を整へて未 (栃木)の五府縣知事は後 中告審別日別追を整本では、 (栃木)の五府縣知事は後 中告審別日別担を (栃木)の五府縣知事は後 中告審別日別担を (栃木)の五府縣和書は、 (栃木)の五府系 (栃木)の五府縣和書は、 (栃木)の五府系 (栃木)の五府

大き 新支那中央政 大き 新支那中央政 大き 大にして記されるとする、 に一 野機を割せんとする、 に一 野機を割せんとする、 でこれを支援を割せんとする、 では、 一 野機を割せんとする、 では、 一 野機を割せんとする。 國兵法認識

御身體にびったり

仕立衣裳

すぐに間に合ふ

ス

7

0

入らわ

吳

輸入業者業制由告

締切期日後は受付ず

は中支棉輸入に關し興亜院 とは中支棉輸入に關し興亜院 と は中支棉輸入に關し興亜院 と 計場の つまに中支當局と種々折衝の つまに中支當局と種々折衝の ついまに中支當局と種々折衝の ついました。

この結果に基き六日來網聯 つたので先般高嶺工務司長 が上海に赴き現地當局と打 つたので先般高嶺工務司長 で

品輸入配給統制要綱に基く三月十一日發表の生活必需

の外福輸入により五月迄の 原棉手當は充分であると見 られ五月より中支棉の輸入 を見れば原棉の手當難は多 を見れば原棉の手當難は多 は出來得る豫定であり現在」は出來得る豫定であり現在 多少減少は免れないもの在の情勢では協定量より



援助金は一

一百萬圓

度百萬瓲

(荒地開發十一萬陌の豫の十五萬キロトン 骨收の十五萬キロトン 骨收

施肥により五%十七萬

交戦國疲勞期に

歐洲赤化

る、一方フ藤の消極的な態 とで対するドイツの不満は をし想像以上であり今後軍 に對するドイツの不満は をし想像以上であり今後軍 では自からその技術と兵 力とを以てこれを強行する。

ク五日國通1 ハリファックス外相の英國

らず英國の重慶政権支持政 策が今や潰瘍的段階に違し 策が今や潰瘍的段階に違し

―英の對支政策

消極化か

日安協

ツ聯の

外交政策に關心

とを中外に宣言 とを中外に宣言

を得ることが必要で の見解を持してを4 の見解を持してを4 の見解を持してを4 の見解を持してを4 の見解を持してを4

聯第六次

成立に伴ふ内外諸政成立に伴ふ内外諸政

カに不足を告げて

の如し
の如し
の如し
の如し

である。全國的に勢力の題と述べたのであつた。われるそのやうに考へるのわれるであった。われ

一大学学校、 一大学学校、 一大学学校、 一大学学校、 一大学学校、 一大学学校、 一大学学校、 一大学学校、 直長の行ふ管室で、 一大学学校、 直長の行ぶ関ラをでいる。 一大学学校、 を施密でないる。 一大学学校、 を変数に對して、 一大学学校、 を変数に對して、 一大学学校、 一大学校、 一大学校、 一大学校、 一大学学校、 一大学校、 一大学校 一

臨時國勢調査の

務機構を整備

中央、地方機關統

元的に配給

製綿配給機構强化

(=)

說

械製

しせればならぬ國策で

回 正維持を一層困難ならしめ 原格取得難により綿葉は登 なり、從つて販賣價格の適 なり、從つて販賣價格の適 なり、從つて販賣價格の適 正維持を一層困難ならしめ である状態に對處し、經濟 化と公定價格の維持を圖る ため滿洲製綿配給聯合會の 機構を强化擴充し、從來製 機構を强化擴充し、從來製

| 配給聯合會に於て近く一元 | ととなつたがその機械製綿の配給は満州製綿 | 的に配給統制が行 各省別に組合

實施要領

がいることでれること

施しようといふのでこれにより従来みたるが如き配給の混亂を避ける一方、切符制度の缺點を補ひ有機的配給を順り得ることとなり更に各牌の自治觀念をも養成し得る等この集團配給の成果は別待大なるものである。 施しようといふのでこれに 対 行び、それを各牌等に 対 行の、それを各牌等に れぞれ自治的適正部給を實 の助成策と相俟つて総で見るが、高船隊は、海京國通」動亂の経 の建造計量は既に豫定の十個級を尻目に世界の海に活躍を被けてゐる、先づ六千趣を被けてゐる、先づ六千趣を被けてゐる、先づ六千趣の助成策と相俟つて輸送客の助成策と相俟つて輸送客の助成策と相俟つて輸送客の助成策と相俟つて輸送客の助成策と相俟つて輸送客の助成策と相俟の不能

三年度總數の過半數を完了し、又優秀客船は大阪商船があるぜんちな丸、ぶらじる丸の兩船をすぐり郷船のる丸の兩船をすぐり郷船の後上次を現はし十八日には横に姿を現はし十八日には横に姿を現はし十八日には横に姿を現なし十八日には横に変を観線の途に就くことになつてゐる

然しながら同ルート開設に 協っ、企機、航運、保険等の 機関並に倉庫の設置、通 機となるのでこれが實現ま でにはなほ曲折を要するも でにはなほ曲折を要するも としては物價對策の急を控

乾瘟遗機店 中古力等壽

我制度を整備統一したので てゐたケシ栽培に對する課 特別税法を 本法は舊三 即日制定

合自治政府では一日開催 禁煙特別稅

日本施汽船の 1トによる三月中の 組活津上り七百六十二名 ・上陸五千七百廿二 ・大のうち済州入り五千五十二名 ・大のうち済州入り五千五十二名 ・大のうち済州人のうち済州 ・大のうち済州 ・大のうち済州

入つてからも日に数回も てある マ…吾等市民は風呂焚用石 炭も不自由勝ちで一週間 炭も不自由勝ちで一週間 につけても石炭煙給の公 につけても石炭煙給の公 につけても石炭煙給の公 につけても石炭煙給の公 につけても石炭煙給の公 成績良好 N

裏日本の

※術委員會長フランシェ ※術委員會長フランシェ

耐力絶大

造元經黑田藥品商會

大阪三九二四九

合高會社

ムソリンの眞債

(ドミアンオフルズ基二位高級)

科醫院 式樣代近 席子椅總 ne社B刺道新座線 式樣代近 下一 席子椅總 五體 市空社日剛道新座銀銭每 一四三二(3)話電機錢每 料金 治 疾

1. 内服のみに依りて、体内に強力なる抗菌酸が大力を産生せしめ、本剤は男女淋疾のを配って、一点、大力を産生せしめ、水道を大力を産生せしめ、水道を大力を産生せしめ、水道を大力を産生せしめ、水道を大力を産生せしめ、水道を大力を産生せしめ、水道を大力を産生せしめ、水道を大力を産生せしめ、水道を大力を変勢し、平均のでは、一点に大力を変が、水道を大力を変が、水道を大力を変が、水道を大力を表現して、一点に大力を表現る。

症應適 法 用 大阪市北區樋上町三 神経 一種 100

として遂に本劑 卓効

市民。声 炭配給の

五代打ること

打式打綿菜者への原格配給

マ…『一日葵かねば一日御本公』のスローガンを張ぶした石炭節約に、國都調した石炭節約に、國都

公平

を希じ

投稿數迎 五十

行以內

のある密などでは四月に 元緒である日浦西弥祉宅 元緒である日浦西弥祉宅 のある密などでは四月に

ころ一行は元氣一杯で二日|羅還した、同部員一行は去|的を達したごとが判明した明となり氣遣はれてゐたと|午後二時十五分長白縣城に|る廿五日白頭山上を極め目

海運世界制

飛躍する日本商船隊

百萬風以上と見込まれてる

小麥粉配給の適正化 ・一麥粉配給の適正化を開る ・一次粉配給の適正化を開る ・一次が配給の適正化を開る ・一次戸單位の各牌がらそれぞ これを更に保長へと手續き をとりこれを基調として配 をとりこれを基調として配 をとりこれを基調として配 をとりこれを基調として配

一、品評會、新穀感謝祭を 益す盛大に且つ村又は屯 毎に行はせる 一、生活必需品の配給圓滑 化を期す たほ本年度増産計畫に對す なほ本年度増産計畫に對す

へ、楽天、哈彌濱を除く其の他の市及び市政管理處 には調査委員會を設けず 施富課願として市長及び 處長を本部長とする調査 本部を置く こ、待村には補村長を本部 長とする調査本部を置き 本部の職員は有村職員を 本部の職員は有村職員を 以て之に充つ

央會解消

檢查と麻袋配給業務を

弱化する農れがあり從つ なすやの點について検討が も法人格を有する組織の 中において業務を執行する組織の 中において業務を執行する組織の 中において業務を執行する組織の も法人格を有する組織の 中において業務を執行する組織の 高機会業務は新たに検査 にしても中旬迄には案の検 が変組合の結成が老 つつある複様である 識されてゐる かては総意審議が進められ がなと、 高級を組合の結成が老 つつある複様である はないてるる

吉林省の農産

見透し

特産雑穀一品目に對した 明ち政府ではさきに豪 明ち政府ではさきに豪 の開設を目下研究中である **逝に髪多の支障を楽してゐ** び豪麗獨自の低物價政策完 て蒙臘の物質高を誘致す

(張家口國通) 崇養経済が 北支經濟と百パーセントの 北支經濟と百パーセントの 過してゐる關係上北支の物 過してゐる關係上北支の物

琿春炭礦增產

五百萬越目標計畫 左の如れ

右緊急命令の内

品質優秀

をもつて債格の昂騰を制動しても收買債格を決定、更に敷土の他の第三國輸出物資に及、重輸仁油、香仁等を皮、重輸に油、香仁等を定債格を決定、更に敷毛

組合(以上日系)祭南職入租合(以上日系)祭南職入租合(以上日系)祭南職入租合(革系)の四組合と天津マーチャントとの間に道準を行はしめ消費物を各品目別に

物資交流

ト開設

日本の

品配給組合、同食料品輸入 品配給組合、同食料品輸入 品配給組合、同食料品輸入 品配給組合、同食料品輸入 品配給組合、同食料品輸入 化學研究に

て制定せられたものである 禁煙特別は正税及び附加 税の二種で正税のび降加 が加税の税率は正税及び附加 が加税は市又は縣の板 で正税の百分 の十五以内となつてをり が加税は市又は縣の收入

地方財政の調整を主限とし、と共に附加税の創設によりと共に附加税の創設によりと共に附加税の創設により

新京中央通

後い人気ノ

東の開放 花東の時表を対象は大規則となりでは、東

P

こる飾を園園すめざを一洋東、てし得見目御が頭四虎猛らか神北と々道朝早日二る去に園物動園南の春いし美も色の空メア、でのもたれる慶輔で村カフノマロ落部ヤシロの山裏子河道機め始月二。月ヶ三後生は頭二中の頭四、たつなにとつなとり入園物動京新で旋輸の等氏西大り係客旅局道鑑江丹社にけたのもたつなと風り張引が関スカーサの本日。カリどな肉てつ入に中の槽の虎行てれ忘もさ恐は長市副屋牖に殊くなでり通一はび喜の長市副屋牖。長園股中にけたのもたたし示をり振悦薄く撫愛てへ與

一身の

相

談

とます 進んだらいいのでせうか 進んだらいいのでせうか

致御か

低下

本事です 本事です 本事です なもの、後理合ひから来るもの、後理合ひから来るもの、後理合ひから来るもの、物質から来るものとでいる。 を失つた結果に依るものとである。 では初めの方の戀愛であるものと解すでするを得ませぬるを得ませぬのである。 ない、音楽に依るものと種々のである。 ない、音楽に依るものと解する。 を要によるものと解する。 を要によるものと解する。 を要によるものと解する。 を要によるものと解する。 を要によるものと解する。 を要によるものと解する。 を要によるものと解する。 を要によるものと解する。 を要によるものと解する。 を理由として今日

0

も明治大帝におかせ

純情裏切られて泣く

t

川、浩

CH

五つか六つの時から乗馬を 覧え、今では寒暖晴雨を問 はず自宅に居る限り紙朝一 度は馬に乗らないと朝食が うまくないといふだけに関 下の話はなかなか盡きさう

られては日露験役に日本 に御料牧場をお聞きになり、必 いたもので、御目らも下總 で、御目らも下總 で、御目らも下總 で、御目らも下總 で、御日となつ たもので、御日らも下總

あらせられたのは異き極 みである と日本馬の比較その他につ と日本馬の比較その他につ

まによつてお買びになった方が経済で、フライや牛鍋にして食べるにはロースやヒレなどよりも上中食を大切れのまま必要なだけ買つて切って使ふ方がよく、お

E)

(3)

(中国) 秋は或権球場に な客の一人と戀に陷り只今 を表すす水年十八歳になっ をでごさいます、ところで 相手の男の方は二ヶ月程前 で見たので早速身間に異変

(安合) 良ければ非常に は歯で歯に報ゆるといふも のに世の中の男女関係があ ると慰ひます、貴方の様に 装名葉をして居りますと多 数の異性に接しませう、多

本 月な證言をして下さると良 が す、其の為めには證人が有 が起きて来ると思ひま が表が起きて来ると思ひま

大きないでせうか、無責任もないでせうか、無責任もないでせうか、無責任もないでせうか、無責任もながでせるのでであるのであるのではございますが、あまりにも男の横巻にくやと思ひを組むとしての自分は標率ではございません。 社会としての自分は標率ではございません。 社会にきる女性はたくさんあるのではが、男に對して居る女性はたくさんあるのではが、男に對して居る女性はたくさんあるのでもか、無責任もないでせうか、無責任もないでせらか、無責任もないでせるのでもない。

一合意の情交は

「馬は可愛い奴だよ」 と美髯をひねつた遊佐閣下 と美髯をひねつた遊佐閣下 は東北訛りの張い言葉でい きなりから言ふと、巨軀を ゆすつてからからと可愛く てたまらぬと言つた風に他

がにあるか、それだけだいかにあるが、それだけだるとを考べて見給へ、 でとを考べて見給へ、 ではないかであるが、それだけだいかであるではないかであるが、それだけであるが、 できなど自ら頭の下る思め があるではないか

再かの数々

い言葉を使ける で一寸言葉を切つた関 では、斃れて行つた愛馬達 で言葉を使ける

持つてゐる馬を日本ではいか、それ程章い精神を出れてのちが原因だが、難れてのち端を答案不良になつたの

初の乘馬

九つか上

一度は馬に乘る

メ家

0

買

モ

武勳を想

す

馬に関する話を訳った他言は 北北で表示に の難行に のを として働く役馬 に感謝を挙げる に感謝を挙げる はれる我等の遊 はれる我等の遊 はれる我等の遊 はれる我等の遊 に認った他言は

音生などと呼ぶんちゃか を連れてもではあることを知ってあるとないと思はんか、 悪力をもあるわけらんよ、外関を を連れてを対したがやないがら、 とを知ってあても愛するんだのであるにはある で変するんだがやないがら、 はないでしながら強にないて使なる を連れて来ないがらさに苦しい を連れて来ないがら違いに変しながらされて来ないがらされて来ないがらされてままがである。 を連れて来ないがらさいがらさいが、 を連れて来ないがらさいがらさいがらままれて来ないがらままれて来ないがらさいがらさいである。 を連れて来ないがら速しい。 を連れて来ないがら速しい。 を連れて来ないがらさいがらまれて来ないがらままれて来ないがらまれて来ないがらまれてよる。 を思いるものは、 を思いると思いる。 を思いる。 をと。 を思いる。 を思いる。 を思いる。 を思いる。 を思いる。 を思いる。 を思いる。 を思いる。 を思いる。

(樣

将器を持参し

▼ 買物は容器を持参し ・ 関助に行きを選ぶこと ・ はのお魚を選ぶこと ・ はのお魚を選ぶこと ・ こと くこと くこと

行鯖と季

理の方法によっては 場物の表に混ぜると 標く場つて、然も榮 が関密ですン が表現の他でも料

令心の

す用ラする。

理の

研究を

記事に注意する。

言の戦士

我等の遊佐さん感懐

根の切りに勝物をついれいになりませんかられいになりませんから な質がた時間で

恒 0 3 方。 租

れます。大

よ皆し變!

界

0

性

室

暗の

照を心掛

ける事

部屋の中や玄陽の燈火は階 は勿論ですが、一様にパッ ない は勿論ですが、一様にパッ ない を明るいのがいムとはいへ とで ません、寒ろ明るい所と暗 でも でも が所と、明暗の對照を作る に使

明るくする方がよいでせる。 関へば應接間の明るくして馬頭を贈った方がよいではかよべいではからに見えます。 自分のが落ちつきません、 自分のが落ちつきません、 はいい気がに見えます。 はいい気がに見えます。 はいい気がに見えます。 はいい気がに見えます。 はいい気がに見えます。 はいい気がに見えます。 はいい気がに見えます。 はいい気がによりがよいでせる。 はいい気がに見えます。 はいい気がによりがよいでせる。 はいい気がによりがよいでせる。 はいい気がによりがよいではなった。 はいい気がによりがよいできるのは、 な要なが分かる。 とだけ、 な要なが分かる。 明暗の對照をつくるのはスタンドを上手に配置することで、テーブルのスタンドでも適當 でも床のスタンドでも適當

をは温い色が適當でせる、 をは温い色が適當でせる、

こと こと 正札の附いてゐない ものは質はぬこと が鮮なものを選ぶこ 選こるない この光を通すと前が美 腎い光は色の白

新京特別市永吉梅三百二號

山口縣原狭郡原狹町大字原狹第一號總比等 公示 催告

申 立 人 石田 カメ

まつる時 スフ糸で

一、愛行といる 新一京 品 法 院 東海七年二月二十日 新一京 品 法 院

よろしいが、

同同同同同

時には、何度も別れてしまな、まつりぐけに致しますを、まつりぐけに致します て面倒です

ない日本などより満州の 大が早く浸達したと優は 大が早く浸達したと優は ではいか「我等の友」を変 を選化しつつあるやうな の関防、企業、文化の の関防、企業、文化の のに可愛がらなくちやる などはあつても無くても がに可愛がらなくちやな がに可愛がらなくちやな がは黄昏れてるた を選れてるた

関ひ方 惣菜用に野菜など と煮合はせるには小 間切肉の方が糖用で す、また挽肉にして 使ふには並肉または 小間切肉などを求め た方がずつと經濟で

生練の惣菜に無の滞逸

す。
一二、鰊の田樂
一二、鰊の田樂
一二、鰊の田樂
一個
生 ・ ※
生 ・ ※
一個
一個
とれる三枚にして鹽をふつ
て焼き、別に味噌をねつて
ないこねります レをつけ作ら焼きま 別しみりん、醤油に 水地二杯半 水地二杯半

受護すること と、なほ冷凍地 から 資ご 源とも努

平

H

B

印

愛

それでまつりぐけをします時、普通にまつ」て来ずに、必ず手前に一てなきますと、 のよりが戻らずに、も つれも少く、從つてきれることも少くてすみますと、

料理の献立

受行代事。 ・最終の所有名義人 ・原徳七年二月二十日

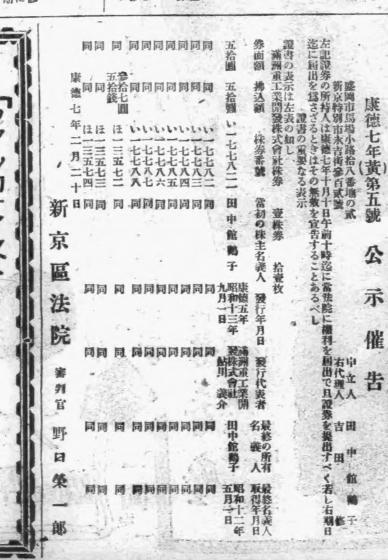
京區 法院

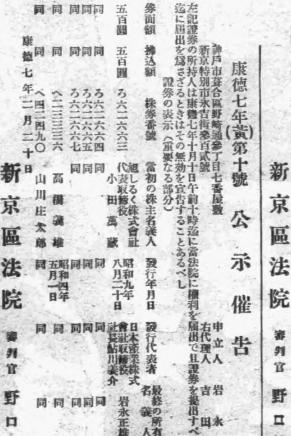
高知市梅ヶ辻町拾七番地高井恒則方康德 七年 公一不住生

映像七年二月二十日 京區法院

製造卸







京區法院 岩水正株 昭和十二年 名 義 人 取得年月日 提出すべ

新京特別市永吉海参百武士 芝に居田を爲さざるときはその無数を宣告することあるべし 一部書の表示は左表の如し 新京特別市永吉海参百武士 一部書の表示は左表の如し 新京特別市永吉海参百武士 一部十時迄に富法院に権利を居出で且證券を提出すべく者し右期日 一名に居田を爲さざるときはその無数を宣告することあるべし 一部書の表示は左表の如し **综面額** 拂込額 一、滿洲重工菜開發株式會社株券 株券番號 發行年月日 名義の所有最終の所有最終

康徳七年黃第四號 萬 しま 安 10 使 3 惠

公

示

・こ・の場合ニュース映登・こ・製作についての機構を記れたニュース強能に組織されたニュース強に過ぎなかつたのであるが

(日 曜 日)

であることでは、 である。 たのははこれにない、 にかずなはというでは、 にかずなは、 にかずなは、 にかが、 はは、 にかい、 はは、 にかい、 はいでは、 にかい、 はいでは、 にかい、 はいであるが、 はいではないでなが、 はいではないでなが、 はいでなが、 はいでなが、 はいではなが、 はいではなが、 はいでなが、 はいでながなが、 はいでなが、 はいでながなが、 はいでなが、 はいでながなが、

こ コース映畫の常 時提供の質の組織を持つこ とが必要とされ、康徳五年 六月に「浦映ニュース」と しての第一報を映畫館に提 しての第一報を映畫館に提

さるものとなつてゐることでの文化生活に缺くべから での文化生活に缺くべから

九報までを無離補語版として は今から見れば冷汗もので はあるが當事者としては命

来た ・ユース映畫といふものに いなものに ・ストリーのであることが出

から見れば冷汗も

はないではなかった、併しなりかけた がらこれを端緒として漸く の定期提供とはなったわけ て製作庫で、日支事變ニュースを伏 ちれ、康治 で、日支事變ニュースを伏 ちれ、康治

日本の同盟ニュースとの
ちれ、康徳六年二月より
ちれ、康徳六年二月より

大いで同年の張鼓峰事件

さいる事態に直面した。と なつて急激な活躍を必須と される事態に直面した。と の時は日本内地の如何なる 撮影班も從軍を許可せられ ず、満映に對してのみ軍撮

階ともいふべきであらうとなつた、これが第二段となった、これが第二段となった。これが第二段

日本内地におけるニ

映畫館提供や

同盟とも提携

にかけ又軍の信頼に對する 意氣に載する上からも必死 の活躍がなされ且つ結果に おいても良きものを早く世

新會社設立で

を地域的には北 支、朝鮮乃至は

在滿日系諸賢は日本出 と消映ニュースとの一 接するのみとなるわれ 接するのみとなるわれ 場は非常に資任が大き

するより外ないのである 主としてこれが充實に專念

實任である、滿洲國の面目・・・・にとつては重大なる



は大いである。人気の程の凄まじざは上海の支那インテリ青年層に陳雲裳であらう、エキゾチックと問い。また人一一ヶ月のロングランを観行させたと言ふ、この「一夜皇后」は武に滿映にもものが出来てゐる點で、もらなづかれるであらう、香港出身の華僑の娘、當年二十二歳、李明と同ものが出来てゐる點で、もらなづかれるであらう、香港出身の華僑の娘、當年二十二歳、李明と同ものが出来てゐる點で、もらなづかれるであらう、香港出身の華僑の娘、當年二十二歳、李明と同ものが出来てゐる點で、もらなづかれるであらう、香港出身の華僑の娘、當年二十二歳、李明と同ものが出来てゐる點で、もらなづかれるであらう、香港出身の華僑の娘、當年二十二歳、李明と同して記るが被閱を通るかどうか疑問視されてゐる、先づ彼女の存在は支那映電が生んだ空前の傑作と称して意支へないであらう

000 いて見やり、というである、諸映ニユースを作る當の責任者としての下氏の言葉を聞長下石五郎氏の筆になれるものである、諸映ニユースを作る當の責任者としての下氏の言葉を聞長下石五郎氏の筆になれるという。以下は諸映ニユース映響課藩映ニユースのつまらなさは最近各方面から領に指摘されてゐるが、以下は蔣映ニユース映響課 ス映畫陣

男女に托して人生親を描 の如く多様性に富んでゐる の如く多様性に富んでゐる が要京が三月下旬から四

だと思ひたい奴は思ったつて構はないが、宣言強人の新京にもちつとは関策會社と云格映さんで、本体映さんも満映さんで、ないないないが、宣言をいるのが、であるつとは関策を記れなさんない。

関がが悪いんだかかますなどとなって、関策がいんだかいをでするとなどですないをですないのですが表してものですがあるなどですがあるとですがあってものだかが、 (世界の大きのですが、 (世界のですが、 (世界のですが、 (世界の大きのですが、 (世界のですが、 (世 きひつ薬補関も、言てらつで何行らでてんらの抜き たま雨地映いん之つもなますで川んネまから良き いす方ががてだがてのきらかすさとエすネい居に

ではないか、新築地がではないか、新築地が新側ですかね(どう)と三郎の「変大…」だちである、へえ、之が新側ですかね(どうが新したり、質山青ですかね(どう)と一郎の御連中文話會あたり

井上、久慈主演の「誰かへる伊奈監督、若原、羨島人の生活問題に示唆を興へる伊奈監督、若意未亡の観響」後篇、若き未亡の観響」後篇、若き未亡の知事。

新興東京春の陣

様な

品

0) RADI 北 新京放送局

満系スタッ も増員

ユース

たいと悩んと間の 担ではない、 指して特差する。 後つて大方諸四 であるであるが ものであるが がしてもなどが を育て、我が がしてとを有を確 であるが がいるとを がいるとを がいる。 であるが がいるとを がいる。 であるが がいる。 であるが がいる。 であるが がいる。 であるが のであるが のでなが のでな







(1) 陸軍記念日

(2) 禁煙運動 (3)

ルグ(生)

それは三十三號の部屋のでないらしいぜ」

総種とスケジュールのもと編輯長をやつてゐる友人の郷里において日刊新聞の

お表さんに定つてはるない「おやぢが居ないか」「おやぢが居ないか」「おやぢが居ないか」

では、いつの日か新土 では、いつの日か新土 では、いつの日か新土 では、いつの日か新土 であららことは、いつの日か新土 であららことは、いつの日か新土 であららことは、いつの日か新土 であららことが、たら順 であららことが、水るであららことの端りであり、来るべき

しても奥様にしても、でももう駄目さ、

いと云ふのは」

情二重奏が静かに

情二重奏が静かに響きはじ コト () 音がしてゐたが純 でなったらしく

うだし、物質

心思つて

技で、私は講演を選ぶ中に 安學校では花瓣のやりに

隣の際が手に取るやうに

た不純な氣持は洗ひ流さ

場いで思ひ切つたんや」 関いで思ひ切つたんや」 いて思ひ切ったんや」

つたすぐ後決心しくたので 忠實に住へやうと島木に逢 忠質に住へやうと島木に逢

故國印象記

れるなよ」

(四)

思つてゐるらしく大き居る者にはみねが居な

好きになってあたのであるになって初めてほのかとなっても

心を覺えたのであつた。こ

しみん と見た。

ユー劇画の文藝部にある。 お終、出來事、仕事のと まな場面が展開する。 は去る。 に去る。 に去る。 に去る。 でもいふズトオリーを うな書き方で、書き上げ 白い。横寫もしつかりし らら、將來の成長を樂し

乗しみとさすそのやうな作品で する。これは一つの良さではあ りしてゐる。だがいかにも若い である。たしかに面 ではなっていないかにも若い ではないかにも若い

みねがその夜部最で静か なレコードに聞入つてゐる といつものやりに隣の部屋 に若い者が四五人集つて雅

うつろな生活に灯がついってゐた。

しめさらなんで着物

思つ

貴ひたかつた。 とれ變つてうんと

小說

人の

出發」ー

文間内 型部が、思あれやうの間たつを 大で色るるや血りあ第三作通日の とまんしい。う筋争るだ解者讃か長 もざない。にがは。さ氏は、外の

國民の行事へ

云ふ爺さ

逢うた」

幸福感が犇々と

と云ひた

んよつ

やら苦しい思ひをさ

林田のwに泣き ねのうなじが娘の

りなじが娘のやりに食

ヒーを飲ん

これ變つて働くんの實家

映の人のパッテマーク。 映の人のパッテマーク。

を共に、ぐすつと頭のなぐられた音。 と共に、ぐすつと頭のなぐられた音。 へ来い、見ると、ひつばつへ来い、見ると、ひつばられてゐる方は若い背債の男、 ひつばられてゐるのは坊主

背償はひつ X×號酸車」 皮肉のや し立て、ゐる姿が見え い類を見せて、盛んに れて行き、私の目には らんなどうい

をひろふか馬車をされ、一緒に交番を出れ、一緒に交番を出

をなほし乍ら け、又罪ひをはじめ、どって、二人とも一緒に手をなし、そこへ恰度豆ダタが水 なのだ

られない一つ

な

してゐたのを忘れて皆えらさらな顔をする。不思議さらに見る。二人は豫局してゐる。坊主頭の方は年をとつてゐるのでいくぶん阿呆なまれをしたと悔いてゐるなまれをしたと悔いてゐる

がスだつた。風の中を 楽つた。風の中を 楽って見ると、 がスだつた。私は で何もない。早くのの行動を思ひ出してしなつた。私は二人のこれが終してしなった。 原因と言いなった。 原因と言いなった。 原因と言いなった。 原因と言いなった。 原因と言いなった。 原因と言いる。 原因と言いる。 原因と言いる。 の中を自動車は から

一人はこもごもの感情の 一人はこもごもの感情の 中にひたり乍ら、電威子に ふるへる程心ろ-かちるとかちると 血のあ

であるとであまい。 であると であると

客を送つてタクシーが通り かくつたので、モダンな方が手をあげ、止めると 「をぢさん、一緒にどうで

鬼城王権道をしよんぼり耐 なことも考へたが、これで なことも考へたが、これで

き國民的生き方の典型的提言方の願示であり、また愛情に堪へざる高貴な民族精神の一表現であり、より高

電疑し應答を交へた後に、 の連解の屋を閉くために熱 心にあらゆるテーマに付て 心にあらゆるテーマに付て

(日 题 日)

「ちょつびりほの字か」 ラにそれを打消すのに必死 になつてある際が聞えた。 おをなしいみねにも好感 おきなしいみねにも好感 が著てる質年の顔がぼーと が落しにみねの網膜に浮ん

みを持つてゐた。

林田に忠實であることだ。 林田に忠實であることだ。

の委相を述べた。の委相を述べた。 被風で観た澎湃たる興亜 育、大陸教育への新しい教育、大陸教育、の展開や、少年姿 育分野への展開や、少年姿 の選別な民族的教育運動の の選別な民族的教育運動の の論からしたことは私が 情の信火の表現であつた 物論からしたことは私が 中に完全に生かさりとし見中に完全に生かさりとし見 命の創作の愉悦を見出されなる生々發展と、自己 願示であり、また愛

り、そしてそれは対対にある青少年、女子青年群の発 んど全分野を施るる説福すべき歴史的生活規範確立の 新なる時代的建設的凱歇の 一部でもある。 (康徳七年 三月廿六日未明、南新京の

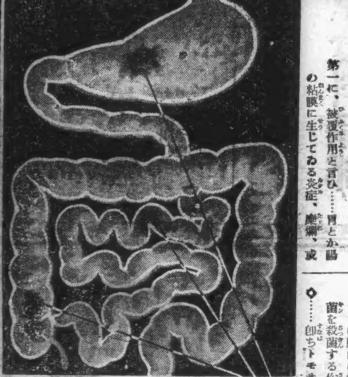
ての國民的

市場寸法ノモノハ全國著名 機械工具・金物店ニ有リマス

體的社會乃至國家への公的 時内より一郷一村さらに全 が変越的主婦としての狭き 方はこの歴史的 い國家的の

www.子供のやらに泣い悲喜の涙にみねは

製



化類や築奏剤や健胃散 胃腸が大力 とのキズやタマレを トモサン線型は先づ たになる道理

版

元

友

田

合 (24)

東京市

本

湖湖

設明書進品

0 第二に、吸著作用と言ひ・ がら、これを健康粘膜に回復させる。 は、流流ので、種々の刺激をさへぎりない。 作用と 腰酵物を吸收して大便中に排出し、最も害のある胃腸内の有毒素と腐敗 菌を殺菌する作用です。 きらに腸内に繁殖する種々の有害細で 即ちトモサンは今までの胃腸薬 胃腸病に

全然本質が相違し、その獨特の業理作でもありません。これらの胃腸薬とは

母別でも、また無論、重書別でも胃散な得化剤でもなければ、柴養剤でも詳

モサン」とは、今までの胃腸薬のやう 面でさかんに質用されてわる錠剤「ト

今ま評判の新胃腸薬として各方

ンによって本格的に治療なさるやる で食物を消化し、菜養分を吸收させ の自活力を盛んならしめ、後には 心からお焼めします。 一日も早くとの最新の胃腸薬トモサ るのが新しい特長です。 末年の慢性胃腸病で悩む方は、

にあらず・本格的の療法 が主放とした消化とか栄養とかは第 二の問題とし、何よりも先づ胃腸病 の病源を治療し、それによつて胃腸

どうしても治らない人。

働きが活潑。

となる

-

『トモサン』です。

らず炎症や糜爛ができ、その一とか腸の粘膜には、知らず知 患つた人が一たん胃腸を悪く すると、容易に元通りになら 間食のすきな人で或は大病を り難い慢性胃腸病を、今までと違った作用で治療す る薬が發見され、最近は各方面で認識を高め、 種々の薬を服んだり手當をしても一向に歩々しくな てゐる人が實に多數にあります。所が今度、この治 胃腸病が一度コチレて慢性になると容易に全治せず に賞用されてきました。 脂肪性の食物が好きな人 最早自分の胃腸病は終生不治であらうかと思つ 甘味性、刺動 えず刺戟されて仲々治りきら 炎症や糜爛が日々の食物にた ないからてす。 的に良くする薬を服み、肝心のと とか、胃痛とか、便通とかを一時 と東角、目先の消化とか、胸やけ 然るに多くの人は、胃腸が悪い 盛ん 腸カタル

酒タバコ

の炎症や際燗を治すことを怠って -物などを清掃することが根本問題 一生じてゐる炎症とか廃欄を治療し 生じてゐる炎症とか廃欄を治療し の情に胃腸内の有毒素、腐敗陰略 の胃腸病を早く治す であると言はれてきました。 て潰瘍性となると、重症の胃 すなはち今評判の新胃腸藥、 生命に関するのです。 潰瘍、胃癌、腸潰瘍となって らしこの炎症や糜爛が悪化し といに着膜して創製されたのが 0 錠劑

一、慢性胃カタルは胃弱、胃下臓 、慢性腸カタル、或は腸内異常 その外、酒、 後か空腹時に胃が痛む人。 は一ケ月に敷回しかない人。 に五六回も下痢便があり健康に 雷鳴などが織くとか、或は一日 酵で、絶えず下痢便、しがり 懲があつても食べられない人。 胃擴張と殆んど同様ですが、 胃部に灼熱感がある人、或は貧 液の出る人、胃壁が荒れであて が張ったり意識がなく、時に貧 幸い物、脂らうなどが好き 絶えず胃陽粘膜が刺軟さ タバコとか、甘

学までと違ふ治療法

新しい薬ができまり

異常腰隊、慢性下痢、便秘になったない。 カタル、胃酸過多、胃下垂、胃弱をは、ないばかりか、胃

こんな症状に 特に好適てす

などの種々の 症状を併發し

、胃酸過多症で慢性的に酸つばい

三個七〇〇

各地の薬店及びデパート職品部に なり。もし品切れの時は直接販賣 の機に限り等

門陽和膜の

網の方は必ず胃とか腸

治りにくい後性胃臓 キズとタッレ

やタッレができてるま の粘膜にからしたキズ

H

店の門專具道武

社會式株具武號村野洲

六ノ一町樂永市別特京新 3



店貨百

時計貴金屬

間 時

店具弓の一唯京新

品粧化・品用學・具房文

店

(通條一東)目丁一町室 番七四五二 (三) 話電



②大 四五

製衣ツ

東 京



時計·貴金屬 蓄音器·寫真機

森洋行新京支店

新京中央通四八 電 3 2 6 3 5 • 2 6 3 7



店劍刀地山

造康地山

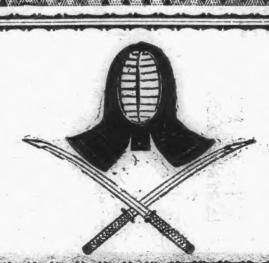
七ノ二町室京新







人の心は武道で つくる 武道道具は 本社で造る



朝鮮武道具株式會社

3 新 京

替口座新京21

二十六回撤金

廿六圓を本社寄託

新築は

には二人乃至三人の同居 を除儀なくされそのうへ 変帶期にある者は結婚を 自然延期せねばならぬと いふ悲惨な状況に立つて ある

が雀組合の

本武徳會劍道範士島谷入十本武徳會劍道範士島谷入十本武徳會劍道範士島谷入十た。 新は流石劍道で練つたた。 新は流石劍道で練つたた。 新は流石剣道で練つたた。 新は流石剣道で練つた

金をうなけつよあるもの 見られることであらう はいかを購出し本社を通じ 国情緒深い雰囲気が辻々に はいかを晴れと着飾つたエ はいかを晴れと着飾つたエ はいかを晴れと着飾つたエ はいかを晴れと着飾つたエ はいかを晴れと着飾つたエ はいかを晴れと着飾ったエ はいかを晴れと着飾ったエ はいかを晴れと着飾ったエ

かの結婚も出來ない

は メラント 連が梅に 海れ 異 し が まん か まん か まん か まん か まん は い か れ る こ と で あ ら う は か れ る 密 で 早 く も 若 い は 等 の 血 を 湧 か せ て あ る る

計手六百、借上

一方属身者一千八百人に 動する獨身寮の宗教は八 百四十六といふからその で記れたの。 で記れているからその

合計三千三百人、四条が関い、関いの感が関に深い、関外して

他かに一千百五

CL

夢を喰べさせやう

毛織物價格査定 単政府は國防色系統毛織物確 中政府は國防色系統毛織物確 一月末現在數量を開始 定ことをなつてゐるが未だ決 定に至らず、見込み數量は

してるる、而して手持品数 量が確定すればこれに對し 公定價格を附すべく、來る 村五日第二回査定委員會を 総入さるゝものに對しては 制度に公定債格を決定する

高文考試(維衡)の第二陽 高文考試(維衡)の第二陽 で、全補から第二週間の豫定で、全補から第二次(學術) (他に二號表題任官三百州

特殊機情から事ら實務に習り、建國職進途上にあるるが、建國職進途上にあるるが、建國職進途上にあるるが、建國職進途上にあるるが、建國職進途上にあるるが、建國職進途上にある。

要問題だけにその時機は各

日本人(半島人滿人にても可)

v

乳母を求む

は自筆履歴書持参至急木人来所相成度し

本第一會議室=行政官高

かしわ餅は

ē

されるに至つた、即ち満洲 展義と反省が中樞部で考慮 にからんで現行高等文官採

滅はどつ

しも

腕に歳は

とらん

の實弟島谷範・

土來京談

からればなられ、答言を超越し、 一善悪を超越

大同公園 一個所免 医 五公園 一個所 一個所 一個所 一個所 一個所

一二宣真

七年四月十一日至康總七年十月期間

新京特別市公告

職係者多數と快談し際祭學校石井兩劍道

結果で建國大學武道顧問、 おんとの固い決意に燃えた との国い決意に燃えた

奢れサラリーマ

思はぬボ

主本催祉 蓋切る 武者四十 一名宛選出する「

ある。。。。。。。 長春寺のお糠迦さまの御誕生は八日お釋迦さまの御選生の東三條通曙町の長春寺で 智療院川添布教節の説教が 智療院川添布教節の説教が ▲大會順序』(一)役員 (一)國族に敬禮(一) 護國の英靈に歐諦(一) 護國の英靈に歐諦(一) 護國の英靈に歐諦(一) 養房族返還(一)會長矣 授(一)來賓祝辭(一) 選手宣書(一)試合開始 (一)優勝旗雲品授與(一)

が山生で市

文盲は國の恥と民生部では で一週間を第二回識字讀書 週間と定め文盲者に對し職 学の必要性を張調する傍ら 民衆に興味ある良書を推薦 綴方當選發表

日文人賞者で民変の低い張人間に最 初で民変の低い張人間に最 を選挙で、四平街市公立 展示常小學校内年生名を 展示学、四平街市公立 展示学、四年生名が

「寫眞は打機関よりも る綴方を募集したところ日 文五百篇、満文八百篇、崇 文二百篇計一千五百篇の多 数作品の應募があり開係者 数作品の應募があり開係者 を記載を完了したので五日 の程漸く完了したので五日 拓植課長として一年間の回 京十日赴任の豫定である、 七日離 である、 編鐵北條課長 に轉に

を作れ

高年の社有地を借りらけー 薬の質をあげさそうと漢質 動の質をあげさそうと漢質

参加から貨夷し、要菜種子 ・も會社で斡旋するほか専門 家が耕作指導にあたる筈で

に 経験を 博しても 計画を では 早くも 計画を では 早くも 計画を では 早くも 計画を では マイ も 計画を からで できない からで できない からで できない からで できない からが ない から

官吏登龍門に意外な疑義

正缺く

有 試

と、唐朝以来二千年餘の歴 楊瀬充弧化の問題にも發展

各若干名

大 同 報 元 新京東六島路 電 (21) 二〇九六 新京東六島路 電 (21) 二〇九六

若干名 但日本内地人に限る

タイピスト募集(日本タイプ)

電電三〇六三

秋

人材登用の新しい組織につたが見所を現代的に生かした

兩鐵小谷氏赴日

質務主義中樞の悩み深刻

室臓部で型導の萬蔵を 変が出來たのでこれから 変が出來たのでこれから 変が出來たのでこれから 変が出來たかが此の春 変が出來たかが此の春 変が出來たかが此の春

福に見る範囲の中に立つ たので「最識の楽劇らか に変ので、最識の楽劇らか であったがあべこべに楽 であったがあべこべに楽 であったがあべこべに楽 であったがあべこべに楽

一定の福澤京皇子さん で十ラクション娘々ダルト アトラクション娘々ダルト アトラクション娘々ダルト 「一座の福澤京皇子さん (特價三百五十圓)が五日 が最近の前次時頃の間に 等をで何者かのために 等をで何者かのために でれた旨同人から首都婆察

の御難がルーの 70

三町楽泉 記真凛和大 三五一五(3)曜

院 御 挨

拶

四月五日 新京平安街 能省中奉天滿州醫大佐敷醫學士助動中の處本日歸院 婦子中奉天滿州醫大佐敷醫學士助動中の處本日歸院

市仁

貞

タイピスト 若干名 若干名

一川を海湖す

知らせ下さいました方には金五

貸家を求む

二引商工戰新京支店 りたし

系觀光案內員募集

資格 高等女學校卒業以上の

一、特遇 月收一百圓以上被嚴支一二、特遇 月收一百圓以上被嚴支 新京交通株式會社

椅子カバー 麻布卸小賣

地麻布團袋地

校町(ダイヤ街)一ノ一四 四七五四二

新京哪町三丁月十八番地

兒玉疊商店

電話3 二二九〇年

市内目拔の場所本橋通り六九

讓食堂向店舖

姓名

登表 表床替

其他材料一式

司

目科業營

貨 電話次第 份 何相談致します

入船町一ノ一六(昌榮ピル) 電話③五五四九番 各質種

語科又は各公園事務所に四月十日午前十時

外人からも献金

六百年慶祝

變更につ ・ニ・ニ・月曜日休業

右の通り變更仕候間何本此儀御諒承賜り度奉希上候 從來每月一日十五日を定休日に致し居候處此度都合に依り 第 百

編輯部員(婦人) 二名管業部員(外勤) 数名

この窮迫せる實情に對し會 主な対統制のため施すに にも資材統制のため施すに にも資材統制のため施すに がなく整當り本年度は家族 持五十戸の新薬と房産會社 に申込んである二百五十戸 と合せで三百戸に過ぎず結 局百戸の不足と今後に於け る増加計員に對し如何にし

社員募集

気・き・天・け・ の・ ふ・ 温・ふ・気・の・

最高 一〇度九 たり小雨文小雪 たり小雨文小雪 大り水雨文小雪

定

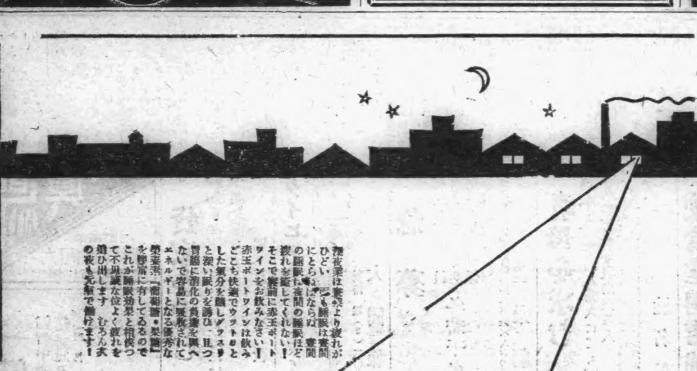
日

月每

までには配備

新京日日新聞社庶務

營業時間午前十時より午後九時迄













人泉カス

宋

内

0







劍 (研・白鞘) 備山前 中古部分品販賣中古自動車解體品 使用不可能自動車 自動車便利社 長 仕事本位の店 新市室町二八七 別店 施信(3)五八八四

出願手續

新京驛前日

ノ出町ニノ四

道

